

## 東京外国為替市場委員会 第 206 回会合 議事録

開催日時 2017年11月29日 13:00～14:00  
場 所 日本銀行本店  
議 長 星野 昭  
副 議 長 大西 知生  
副 議 長 青山 宏明  
書 記 重本 浩志  
出 席 者 24名

### I. グローバル外為行動規範の本邦市場参加者への展開

11/14日に開催されたグローバル外為市場委員会（GFXC）会合について、星野議長より、「グローバル外為行動規範」（グローバルコード）のうちパブリックコメントに付されていた原則 17 のラストルック慣行についての議論や、幅広い外為市場参加者を対象としてグローバルに実施されたサーベイ結果について、また、重本書記より、グローバル外為市場委員会の組織や運営に関する議論の状況について、それぞれ報告が行われ、今後の公表や作業予定について情報が共有されました。

次に、各委員より、東京市場におけるグローバルコードの浸透と遵守を促進するための取組みの状況につき、順次報告が行われました。星野議長より、幅広い主体に対する働きかけを進める観点から、外部専門家と意見交換を行ってはどうかとの提案があり、了承されました。

続いて、大西副議長より、グローバルコードの遵守意思表示を行った先の登録（パブリックレジスター）手順案等について説明があり、各委員は持ち帰り確認を行うことになりました。

### II. 対円 NDF に係る今後の対応について

廣田委員より、トムソン・ロイター社の“JPNU” ページのレートの算出方法変更を受けた ISDA の対応状況について、報告がありました。これを踏まえ、代替レートの推奨を行うかどうかも含め、次回の本委員会では今後の対応について検討することになりました。

### III. ファンド為替 PVP 化プロジェクトの進捗

山内運営小委員長より、ファンド為替 PVP 化プロジェクトチームにおける議論の現状と、今後の作業予定について、説明がありました。

### IV. その他

大木広報小委員長より、現行の市場委員会のウェブサイトのサービス提供会社の変更等について説明があり、了承されました。

大西副議長より、委員退任の意思が示されました。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿 (11月29日現在)

<委員>

議長・BCP小委員長	○星野 昭	(三菱東京UFJ銀行)
副議長・CoC小委員長	○大西 知生	(ドイツ証券)
副議長・市場調査小委員長	○青山 宏明	(みずほ銀行)
書記	○重本 浩志	(日本銀行)
運営小委員長	○山内 太朗	(三菱UFJ信託銀行)
広報小委員長	○大木 一寛	(EBS デイリング リソース ジャパン)
法律問題小委員長	○松本 洋志	(三井住友信託銀行)
E コマース小委員長	○大澤 孝元	(パークレイズ銀行)
教育小委員長	○高山 典大	(野村証券)
バイサイド小委員長	○呉田 真二	(三井住友銀行)
	○廣田 泰司	(JP モルガン・チェース銀行)
	○石川 昌信	(トウキョウフォレックス上田ハロー)
	○宗川 雄視	(トムソン・ロイター・マーケット)
	○宮崎 誠	(CLS)
	○好川 弘一	(バンクオブニューヨークメロン証券)
	岩崎 拓也	(バンク・オブ・アメリカ・エヌ・エイ)
	○時田 剛	(BNP パリバ証券)
	○狩野 弘一	(シティグループ証券)
	○光定 建治	(ゴールドマン・サックス証券)

<準委員>

○伊藤 祐介	(マネー・フローカース・アソシエーション)
○小柳 徳明	(三菱東京UFJ銀行)
鈴木 智美	(ドイツ証券)
○藤平 武文	(みずほ銀行)
○山本 浩司	(三井住友銀行)
○本田 大和	(日本銀行)

<オブザーバー>

○原田 浩気	(財務省)
--------	-------

(注) 敬称略 (順不同)。○は今回出席。